

おぞの

尼崎市立小園小学校

平成31年2月27日

No.12

ー 子どもの可能性を信じる ー

校長 平家祐孝

1年生が植えたチューリップが、力強く土を持ち上げ太い芽を出し始めました。サクラの蕾も膨らみ始め、6年生の卒業が近づいていることを実感できます。

2月9日(土)、アルカニックホールで開催された尼崎市合奏連盟第65回定期演奏会に本校吹奏楽部が参加しました。別用で仕方なく参加できなかった子どももいましたが、60人近い部員が参加・演奏しました。

緞帳が上がった瞬間、緊張した自分がいました。演奏中に何かが熱くなった自分がいました。演奏が終わった瞬間、素晴らしい演奏に無我夢中で拍手を送る自分がいました。指導・支援してくださった先生方の指導力に感服しますが、指示にすぐに順応でき、初めて上がったステージでの堂々たる演奏で、会場を感動させた子ども達は、本当にすごいと思いました。

演奏後には、指揮をしていただいた谷澤先生から「気持ちよかった」との言葉もいただくことができました。

2月16日(土)、晴天のもとベイコム陸上競技場で市内小学校男子62チーム、女子68チームが参加した駅伝大会が行われ、本校からも男子5チーム、女子7チームが参加しました。

結果、女子Aチームが、昨年につき2位以下に大差をつけて2連覇を達成し、区間賞も奪取しました。また、女子Eチームが4位、男子は、Aチームが6位入賞を果たしました。結果は右QRコードで参照ください。

チーム5人が、タスキに気持ちを込めつないでいく。

一人一人の頑張りや勿論のこと、チームの一員としての自覚や責任が総合力として現れたものと考えています。



小園小学校に赴任してから4年。入学式でパイプ椅子に座り、床に届かない足をブランブランさせていた1年生も、1ヶ月後には高学年に。先日の参観日では、「二分の一人式」の中で、自分の夢や親への感謝の気持ちを語るまでに体も心も大きく成長しました。

「ありがたい自分」に果敢に挑戦する。同じ目標を持つ仲間同士で力を高め、その努力をたたえ合う。そして、自分一人ではできないことを理解し感謝を忘れない。そんな積み重ねが、これから生き抜く子ども達の力となる。子どもの可能性を信じることで、多くのことを子ども達から学び授かることができた実感しています。